

みんこ

播磨町民生委員児童委員協議会

マークの意味
 マークの図柄は昭和35年(1960)に公募して選ばれたものです。幸せのめばえを示す四つ葉のクローバーをバックに、民生委員の「み」の文字と児童委員を示す双葉を組み合わせ、平和のシンボルの鳩を型取って、愛情と奉仕を表しています。

26号
 (2016. 8. 1)



平成29年(2017年)には、民生委員制度100周年を迎えます。

今後とも機会あるごとに会議を持ち、問題点を提案していきたいと考えています。

（町議会だより No.227号にも掲載されており。）
 防犯カメラ設置場所の把握と今後の申請等について。
 再度立ち上げて欲しい。
 以前あった身体障害者福祉協議会を再構築したい。
 今後はあんしんボタン（緊急通報装置）の誤作動が多いと聞いているが、今はどうなっているか。
 以前あった身体障害者福祉協議会を再構築したい。
 防犯カメラ設置場所の把握と今後の申請等について。
 （町議会だより No.227号にも掲載されており。）



議会と語り合おう

よりよい町づくりに向けて

この度、初めて町議会議員と民生委員・児童委員企画委員との交流会「議会と語り合おう」を町役場会議室で2月15日に実施しました。民生委員・児童委員の役割のうえからなってくる問題に対して、東奔西走していることなど議員の方々に認識していただき、今後のよりよい町づくりに向けての意見交換をしました。

協力委員の活動に対して何らかの優遇はないのか。

以前はあんしんボタン（緊急通報装置）の誤作動が多いと聞いているが、今はどうなっているか。

以前あった身体障害者福祉協議会を再構築したい。
 防犯カメラ設置場所の把握と今後の申請等について。

（町議会だより No.227号にも掲載されており。）

心のおもむくままに

出かける前に「気をつけて」と言う時、事故に遭う確率が本当に減るのだそうです。

毎日、何気なく言っていた言葉ですが、以前そんな記事を読んだら、いっそう意識して言うようになりました。

朝、家族が出かける時、小学生の子どもたちが登校する時、そして自分が出かける時にも……

大切な人がどこかへ出かける時は「気をつけて」行ってらっしゃい。」



(K)

三年間の活動を振り返って

「超高齢化社会」という言葉をよく耳にしますが、これは当町に於いても例外ではありません。上手に年齢を重ねて心豊かに生きてゆくことは、人生の大きな課題です。

私たちは任期中に、福祉の専門職による研修や、町内外の施設見学を通して知識を深め、地域の方々の安心と安全な生活を支援するための、理論と実践を学びます。担当地区を見守りする中で、ご近所のちょっとした情報によって、さりげなく福祉の傘を差し伸べることが出来るかも知れません。

老いも若きも、世代の垣根を超えて共に手を携えて、支えあえる地域社会の実現を願って、微力ですが日々活動に努めます。



(M)

三年前の12月に新旧併せて19名のメンバーでの部会運営でした。
 初年度の児童母子福祉部会に始まり、二年目は高齢者福祉部会、最終年の今年度は障害者福祉部会と経験を積み、歩んできました。

①町職・社協職員を講師に迎え、制度・サービスの研修

②町内の施設訪問

③町外の施設訪問

訪問先は県立清水が丘学園、児童養護施設・信和学園、最近増加の特別養護老人ホームに変わるサービスマン・フールツガーデンさかいを見学出来ました。

(S)

私たち正副部長は、年間学習計画を立て実施することが仕事の一つです。社会福祉施設の見学では、受け入れてくれる施設を見つけてるのが一苦労ですが、より良い研修ができるように交渉を重ね、日時を決め、行程を考え……と大変ではありますが楽しくもある作業です。因みに今年度は、県立こどもの館を見学し、神戸地方裁判所姫路支部での成年後見制度の学習を計画しています。

年間学習は、見聞を広め、知識を深めて、日々の見守りや相談活動が不安なくできるようなと願って計画してきました。

この三年間何ほどのこともできませんでしたが、部会員の皆さまに助けられ、楽しく学習できたことを深く感謝しています。

(K)

熊本地震に対して、心よりお見舞い申し上げます。

高齢者運転止め時は？

高速道路での逆走や駐車場での暴走など、高齢ドライバーの事故が後を絶ちません。国は認知症検査の強化と併せて、免許の自主返還を呼び掛けていますが、マイカーが生活の足である地域では行動が制約されるため、高齢者は大きな「決断」を迫られています。家族や周りの人の助言や説得が不可欠です。

「地震が起きたら……まず、自分の身を守りましょう！」
 東日本大震災も復興の道半ばというところに、熊本地震が発生しました。関西圏においても南海トラフ巨大地震の発生がより身近に感じられる昨今です。
 今年3月、播磨町総合防災マップが配布されました。各家庭で防災について話し合う機会が増えたのではないのでしょうか。
 私たちはいざという時には隣近所の助け合いが大きな力になっていることを過去の経験から学びました。常日頃からご近所との絆を深める努力が大切ではないでしょうか。
 これからも私たち民生委員・児童委員はサロンや見守り活動を通して地域の絆を深める努力をしていきたいと思っています。

編集後記

最近、児童の貧困や虐待、高齢者を狙った詐欺、認知症による行方不明者の増加など問題も複雑多様化してきています。これからのいろいろな情報をわかりやすく発信してまいりますので、よろしく願います。

はりま風薫るフェスタ

はりま「風薫るフェスタ」が4月29日に大中遺跡公園で盛大に行われました。

ふれあいと学びをテーマに、今年から名称を「風薫るフェスタ」に変えスタートした播磨町の催しに、私たち民生委員・児童委員、主任児童委員は昔遊びを今の子ども達に体験してもらおうと、竹馬、こま回し、魚釣り、大縄跳び、シャボン玉、風車などで子ども達と楽しく遊びました。



「福祉映画のつどい」 「チャリティーバザー」開催

2016.6.25(土)



学校が変われば、地域が変わる。そして社会が変わっていく！

支援が必要な子も皆と同じ教室で一緒に学ぶ公立小学校。

突然、教室を飛び出す子、皆に暴力を振るう子、その子を担任する先生の努力。

自分なら出来るだろうかと自問自答してみると不安が先立ちます。

映画の中では先生が親たちと語り合い、そして担任の先生、保護者、地域の大人たちが子どもたちを見守りながら学び合い、笑顔になっていきます。

私たちが微力ながら協力して、見守り活動に注力していこうと気持ちを新たにしました。



ゆうあい園生が大切に育てたジャガイモや玉ねぎ、そして民生委員の手作り品のバザーを開催しました。

募金やバザーにたくさんのご協力ありがとうございました。

地域児童育成環境づくりフォーラム

播磨町主任児童委員が代表発表を行いました

6月26日、明石市立市民会館に於いて、地域児童育成環境づくりフォーラム「手と手をつなげて育む地域のこどもゆくもりのまなざし」が開催され、今年度は播磨町主任児童委員が「見守りは連携から」と題して活動の発表を行いました。

《発表内容》播磨町は小さな町に4つの保育園と3つの幼稚園、そして小学校4校・中学校2校があり、63名の民生委員・児童委員と4名の主任児童委員で活動しています。私たち主任児童委員の役割として大切にしていることは学校園との連携です。定期的に学校園を訪問し情報交換を行い、子ども達の健やかな成長を見守ります。

また、各行事等にも積極的に参加・参観、長期休暇中のパトロールや赤ちゃん訪問、子育て支援センターの紹介や行事への参加、乳児健診のお手伝いなど、地域に密着した見守りにつとめています。

「見守りは連携から」そして継続していくことだと思えます。

学校、地域、関係機関が手をつなぎ、私たちが旗振り役となって子ども支援、親支援を目標に、地域そして社会へと繋がりを深めていけるお手伝いを続けて行くことが大切だと改めて感じました。



当日は民生委員・児童委員も全員応援に駆けつけました。発表終了後は大きな拍手をいただき、無事に終えることが出来ました。

主任児童委員のみなさまご苦労さまでした。

こどもたちは赤ちゃん

生後4か月までの赤ちゃんがいるご家庭を、地域の民生委員・児童委員と主任児童委員が訪問し、育児についての悩みや心配事をお聞きし、子育てに関する情報をお届けします。

訪問前には町から案内があります。

学校や地域で

学校生活及び地域生活の問題点の共有をはかるため、各学校との懇談を実施、長期休暇中は見守りを目的としたパトロールを実施しています。

パトロールでは、子ども達の遊び場や遊具の点検・調査にも気をつけています。

こんな身近な所にも危険が!!

事故情報が多い遊具

滑り台	440件
ブランコ	233
鉄棒	141
ジャングルジム	120
うんでい雲梯	95

(上位五つ)

※2009年9月～15年12月までに寄せられた情報を消費者庁が集計

